# たかぎ議会だより

No.103　令和5年10月

P2・3　令和4年度 決算認定
P4　予算決算常任委員会
P5　定例会報告
補正予算
P6　議会活動報告
P7　一般質問
P8　総務産業建設常任委員会
P9　社会文教常任委員会
P10・11　どうする議会 part Ⅱ
P12　この村でがんばってます

## 天気に恵まれた　たかぎ保育園運動会

～多くの保護者が見守る中　初めての運動会～

発行　長野県喬木村議会　　編集　議会だより編集委員会　　発行責任者　後藤章人　　印刷　龍共印刷株式会社

# インフラ整備·人口増対策·新型コロナ

## 9月 定例会

令和5年度第3回定例会が、9月6日から26日までの
後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計および水
原案のとおり認定、可決した。

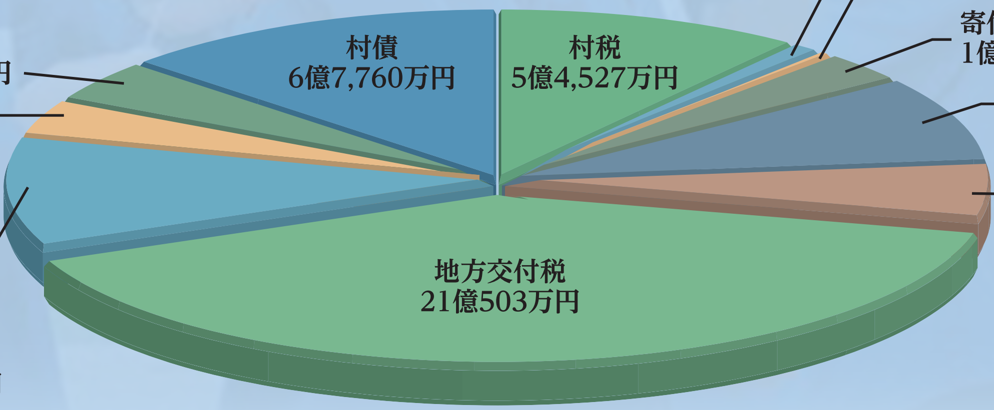
## 令和4年度 主な

**喬木村地域活性化商品券発行事業**
村内事業者を支援するため
商品券を発行
6,270万円

**統合保育所関係経費**
たかぎ保育園建設
6億3,395万円

**道路橋梁新**
村道20
舗装修繕
2億1,2

## 一般会計 歳入
## 総額52億5,800万円



# ウイルス関連支援事業等の決算を認定・可決

21日間の会期で行われた。令和4年度一般会計、国民健康保険特別会計、
道事業会計、下水道事業会計の歳入歳出決算の認定について審査を行い、

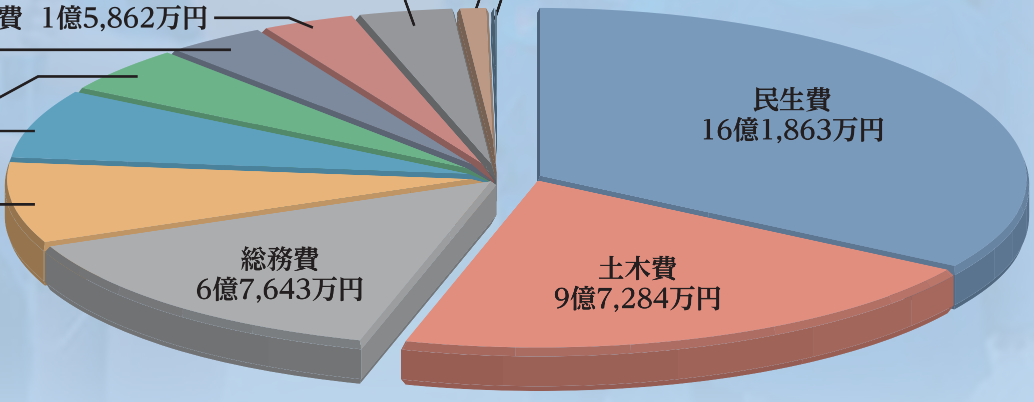
## に行った事業

**公営住宅事業**
クラソ喬木建設
3億1,074万円

**喬木村物価高騰対策商品券発行事業**
物価高騰の影響を受けている
村民生活を支援するため
商品券を発行
3,169万円

**設改良経費**
0号線
工事他
75万円

## 一般会計 歳出（目的別）
## 総額47億5,017万円



# 行政チェック

**予算決算常任委員長　小川原 美智穂**

令和5年9月20日、予算決算常任委員会を開催し、令和4年度の一般会計、民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計および水道事業会計、下水道事業会計の歳出歳入決算の審査を行い、全て報告のとおり認定した。主な質疑は下記のとおり。

**Q** クラソ喬木は好評であったが、今後の集合住宅についての構想はあるのか。

**A** 集合住宅は、一時的住まいであり、クラソ喬木のような若者向けの場合、生活をする中でこの喬木村で引き続き暮らしたい。と思って頂けるような住環境整備が必要と考える。住環境整備は、災害対応、子育ての環境、道路などのインフラ面での整備が重要と考え、先行的に行っている。今後の建設については、人口ビジョンの中で必要な地域があれば前向きに取り組みたいと考えている。

**Q** ３月に農業委員会主催により若手農業者の体験発表会が開催され、多くの若手農業者の参加があった。個人的には、喬木はこれから素晴らしい農業地域になるな、と感動したが、今後も年１回程度こうした機会を設け、若手農業者の背中を押してやることも大事だと感じたが、今後の考えについて確認したい。

**A** 年度末に新規就農者の皆さんに集まってもらい、意見交換会的な研修会を農業委員会主催により開催した。農業委員会からもこうした活動は非常に重要なので今後も開催してほしい、との意見があった。今回開催した経過は、新規就農者等若い農業者の皆さんが非常に増えてきたこともあり、農業者同士の横のつながりを強くしてもらうなかで、遊休農地利用等それら活動に対する農家目線による意見を出してもらう機会確保を目的に行った面もある。今後も継続していくなかで農家の皆さんのまとまりを図るとともに、その中で様々な意見を出してもらう場にしていきたいと考えている。

**Q** 公民館運営審議会での検討結果の公表は、いつ頃になるのか、反映は来年度となるのか。

**A** 年内 12 月を目途に答申を受け、その後検討を行い各地区に公表していく予定。

**Q** 交通安全協会の役員は、現在、自治会から男女１名、出ていると思うが、男女１名ずつ 必要なのか。それぞれ自治会で、今負担軽減を考える中、必要なのか。男女１名ずついなければならないのか。男女のどちらが１名で良い、と言う運用ができるのかどうか。

**A** 交通安全協会の役員も含めて区・自治会の地域の役員は、なり手不足といった課題があると認識している。現在、交通安全協会の各地区の役員数について負担軽減から人数を減らすことについて検討しており、今年度中に結論を出したいと考えている。

**Q** 操法大会の今後の考え方で、団員の負担軽減の観点から、他の町村では、操法大会や県大会を目指さない。飯伊大会は目指さない、と言うところが出ている。大会を目指すための操法ではなくして良いのではないか。と思っている。あくまでも有事の際の活動も安全性も含めた中で、機能的に動くということが大事かと思う。今後の操法に対する村としての考え方を聞きたい。

**A** 本年度４年ぶりに操法大会を行った。団員の負担軽減を考え、平成 30 年度の訓練日数は 38 日であったものを今年度は 26 日との訓練日数を減らした。現在、団員と家族に向けて操法大会とそれまでの訓練の負担感や負担軽減についてアンケートを行っている。今後、団員の声を聞きつつ他の市町村の動向も参考にしながら、団でよく検討を行っていきたい。

**Q** 体育施設は村外者にも人気があると聞くが、電気料等経費が上がる中、利用料金の検討や村内者、村外者の使用ルールの見直しは行うのか。

**A** 夜間利用料金は、周辺市町村の中では多少高額な設定となっている。名義貸しについては調査が難しいが、明らかな場合は資料等を求めていく。

# 定例会報告

令和５年第３回定例会は、９月６日に開会し、報告２件・議案16件を審議のうえ全会一致で可決、承認とし、９月26日に閉会した。

尚、令和４年度各会計決算の認定６件、令和５年度補正予算６件は予算決算常任委員会に付託審査とし、陳情１件は社会文教常任委員会に付託審査とした。

| | 議　　案 | 審議結果 |
|---|---|---|
| 報告 | 令和４年度決算に基づく健全化判断比率について<br>要旨：健全とした監査委員の意見 | ー |
| 報告 | 令和４年度決算に基づく資金不足比率について<br>要旨：資金不足は生じていない為、該当しないとした監査委員の意見 | ー |
| 即決議案 | 喬木村教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて<br>要旨：伊久間　鈴木敏雄氏　　任期　令和９年10月10日まで | 原案可決 |
| 即決議案 | 工事請負契約の締結について（村道620号線舗装修繕工事）<br>要旨：伊久間バイパス　　契約の相手方　小木曽建設（株） | 原案可決 |
| 即決議案 | 財産の取得について（排水ポンプ車購入事業）<br>要旨：8トン車　5,478万円　　購入先（株）メエップ | 原案可決 |
| 即決議案 | 村道路線の廃止について<br>要旨：村道581号線　飯田精機（株）西側 | 原案可決 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和４年度 喬木村一般会計歳入歳出決算の認定について | 原案認定 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和４年度 喬木村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 原案認定 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和４年度 喬木村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | 原案認定 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和４年度 喬木村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 原案認定 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和４年度 喬木村水道事業会計決算の認定について | 原案認定 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和４年度 喬木村下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について | 原案認定 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和５年度 喬木村一般会計補正予算（第２号） | 原案可決 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和５年度 喬木村国民健康保険特別会計補正予算（第１号） | 原案可決 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和５年度 喬木村後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号） | 原案可決 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和５年度 喬木村介護保険特別会計補正予算（第１号） | 原案可決 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和５年度 喬木村水道事業補正予算（第１号） | 原案可決 |
| 予算決算常任委員会付託議案 | 令和５年度 喬木村下水道事業補正予算（第１号） | 原案可決 |

| | 社会文教常任委員会付託議案 | | 審議結果 |
|---|---|---|---|
| 陳情 | 「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書<br>要旨：当村は国の点検団体から除外、住民の不安を招きかねない | 陳情者　長野市若里 1-5-26<br>長野県保険医協会 会長 宮沢裕夫 | 不採択 |

## 令和5年度 2号補正予算の総額 3億3,742万円 ピックアップ事業

- 一般会計の歳出では、道路及び農業施設などの災害復旧費１億6,835万円、こども家庭センター建設関係5,255万円、価格高騰対策支援金支給事業293万円、予備費に8,331万円などを計上。
- ３特別会計の補正予算は、決算確定による前年度繰越金の計上が主。
- ２事業会計の補正予算は収入に企業債の計上。
  支出に中原住宅団地に係る配水管及び管渠布設工事の増などを計上。

# 議会活動報告

## 北部ブロック議員研修会より

7月 21 日に所属議員参集のもと「下伊那北部ブロック町村議会議員研修会」が開催された。

主な内容は、研修会では、南信州地域の広域的な幹線道路網構想及び計画「南信州環状」「南信州軸」と題して下伊那土木振興会事務局長より土木振興会の歴史から今後の南信州地域広域道路ネットワーク計画について学習しました。

続いて、各町村から出された 15 の議案の審査を行いました。全議案、一部修正も含め採択され、9月 22 日に行われた長野県に対する要望活動へと繋がった。

## 喬木村からは道路インフラ関係、子ども医療費について要望

**県道上飯田線の阿島橋架替と狭隘区間拡幅改良の早期事業化を求めることについて**

1. 阿島橋掛け替えの早期事業化
2. 小川- 氏乗間の狭隘区間の解消と防災対策の充実
3. 県道上飯田線と座光寺上郷道路を結ぶアクセス改善の計画

**子ども医療費完全無料化について**

1. 県内のどこに住んでいても平等に、子育て中の保護者が、医療費の負担で家計を圧迫されることなく、病気で苦しむ子どもに適切な医療や治療を受けさせることができるよう、子ども（18 歳到達後の3月31 日まで）医療費完全無料化をすること

新田建設部長に要望

地元県議と共に県議会の正副議長に要望

## 県への要望活動

9月 21 日下伊那北部５町村議会による要望活動を、正副議長出席のもと長野県庁にて行いました。

### 県の見解

**上飯田線の改良について**

阿島橋は現状管理を進めながら事業を見極めていきたい。

小川、氏乗間の道路改良は抜本的な改良は困難である。最終的にはトンネルになるだろう。緊急性などを鑑みながら検討したい。

アクセス改善は既に着工している関連事業を中心に進めていく。今後は様々な研究を加え検討を重ねていく。事業に対してのニーズはあると捉えている。

**子ども医療費完全無料化について**

実施にあたっては受給者負担の撤廃が前提となる。昨年から補助対象を拡大しているが、今後も市町村と共に検討を重ねていきたい。福祉医療費は平等であるべき観点から県としても国に引き続き働きかけていく。

**喬木村の道路関係のインフラ整備に向けた要望活動は今後単独でも行っていく予定です**

## 保育園について

**後　藤　澄　壽　議員**

**Q** 保育園の現状と課題はどのようになっているか

**A** 保育園児の安全確認は、送迎バスについては、1名の保育師の添乗、安全装置の装着などで安全確認を行っている。園外保育については事前に下見を行い常に人数確認を行うよう安全確認を徹底している。通学・通園路の安全対策については、通学・通園時間帯の工事用車の通行をさけてもらうなどしたい。

■算数・数学教育について

## 部活動の「地域移行」と教員の「働き方改革」ついて

**櫻　井　　登　議員**

**Q** 部活動の「地域移行の現状と課題」について、特に「働き方改革」につながること、期待されることをお訊きしたい。

**A** 「地域移行」する目標として、①休日の学校部活動を令和8年度末を目途に移行する。②平日はできるところから移行する。生徒の活動を保障しつつ、教員の勤務時間外の部活動指導を減らす工夫を検討・実施する。ただし、平日のみ短時間で行っている活動は学校の判断により勤務時間内に行うことが考えられる。

■「長時間労働」の改善について
■「働き方改革につながる方策」について

## 人口減少がもたらす、連鎖的な課題について

**木　下　温　司　議員**

**Q** 令和4年度重点的な事業の取組、これらを生かす今後の取組・空家への対応・野生鳥獣被害の今後の対策について。

**A** 令和4年度は「子育て支援と定住促進」を重点的な取り組に位置付け、たかぎ保育園の整備や子育て世帯向けの集合住宅の建設などの事業を進めてきた。結果、村外からの転入者増、村外への転出抑制により、7年ぶりに転出者を転入者が上回る社会増の状態となり、一定の効果があった。今後、「こども家庭センター」の設置など子育て支援、教育環境の充実を図っていく。

■関連して、人口減がもたらす、空家、耕作放棄地、私有林の管理等について質問。

## 三遠南信自動車道周辺の土地利用について

**小川原　美智穂　議員**

**Q** 三遠南信自動車道周辺の土地利用について、村の中長期的な計画の中に、道の駅設置の計画はあるのか。また、今後検討する余地があるのか。

**A** 村が道の駅の構想を持ったのは、どこの町村より早い。訪れる皆さんに愛される道の駅を作るには、しっかりとした研究が必要であり、今後の動向をしっかり見極め、具体的にどうだということは言えないが、村としては道の駅構想は30年以上も前から持ち続けているということを理解して欲しい。

■胡桃沢建設発生土受入地の後利用について
■山の活用について

## 協働の村づくりの推進、村発足150周年事業にむけて

**福　澤　一　成　議員**

**Q** この事業が歴史への感謝にとどまらず、未来を託す世代の為に何が出来、何を残せるか、期待と希望を繋ぐ事業とは。

**A** 明治8年発足の喬木村は、令和7年1月23日に満150年を迎えることから、先人の功績をたたえ、住民参加型、誇りや愛着を育む、200周年また更なる未来に人が輝き、美し郷喬木を創造するとした内容の基本理念の下に、5つの基本方針を定め、来年度に記念事業を計画し、全村をあげてお祝いをしたいと考えている。

■村民が気軽に村の魅力や課題を共有する機会が必要ではないか。

## たかぎ村 あれこれ

### 喬木村の住所表記について

**Q：** なぜ喬木村の住所は番地だけ？
**Q：** なぜ他の市町村のように地区名（字）などを書かないの？

**A：** 明治になり政府は全国の土地に地番を付ける法律を作りました。正確なことは分かりませんが、喬木村は明治８年１月村発足以来今日まで合併も分村もなく、１つの村として続いていて、自治体内に番地の重複する混乱もなく、地区名（字）などで住所を区別する必要がなかったからと思われます。このことも「たぐいまれなる大村」と呼ばれている理由の一つとも思われます。

# 総務産業建設常任委員会

委員長　佐　藤　文　彦

今定例会において、総務産業建設常任委員会への付託議案はなく、委員会協議会として、諸課題についての今後の対応と、国・県への要望項目の検討を行った。

7月から開催してきた議会の地区懇談会において、地域の課題として特に井水と鳥獣被害（サル）の問題が出された。先ずは関係者の皆さんの現状と課題を詳しく聞く機会が必要と判断し、以下の通り学習会・懇談会を開催した。今後、出された課題について委員会において早急に検討を進めることとした。

## 大和知区にてサル被害の現地視察

地区懇談会においてお聞きした、サルによる農作物被害の状況について、8月20日（日）に、富田区、大和知区、氏乗区の皆さんと現地調査を行い、被害の状況について確認した。梨、とうもろこし、椎茸など、多くの被害が発生していることを確認し、学習会の開催を計画した。

被害個所視察

## 野生鳥獣被害対策学習会

9月13日13時30分から、南信州農業農村支援センターの深谷俊英様を講師に迎え、野生鳥獣対策の学習会を開催した。各区長、農業委員会、猟友会など40名の参加があった。

深谷講師

参加者より現在の被害状況の報告や今行っている対策など発言いただき、今後の対応など講師と質疑応答を行った。

サルに依る被害が急増しており、先ずは地域で出来ることとして、追い払いが有効であると確認した。

今後は議会としても、電気柵の設置費用への補助や大型檻による捕獲の有効性、GPSによるサルの行動パターンの把握、また、追い払いに対する猟友会への補助の新設等、被害状況に応じた対応を引続き調査検討していく。

学習会の様子

## 井水組合懇談会

9月27日19時より、各区長、自治会長、井水組合の代表の皆さん40名のご参加をいただき懇談を行った。

それぞれの井水組合へは事前にアンケート調査も行い、負担金の状況や維持管理における課題など、改めて発言をいただき、それぞれの井水の抱える課題について共有し、今後の対策や要望などを伺った。

井水については、農業のためだけではなく、雨水の排水や火災時の水利など、防災の観点からも非常に重要な施設であり、各地区の人口減少や耕作者の減少は、今後の維持管理において大きな課題である。

議会としても、社会インフラの一部と捉え、今回出された意見・要望について、早急に調査研究を行い、1つでも解決の道筋ができるよう努めていく。

懇談会の様子

## 国・県への要望項目

【国】

1　三遠南信自動車道の建設促進および地方道のさらなる整備拡充・強化を求める要望書

2　森林環境譲与税の譲与 基準の見直しを求める要望書

【県】

1　一般県道上飯田線
阿島橋及び座光寺から氏乗間の拡幅改良整備促進

2　一級河川　壬生沢川　河川改修整備促進

3　主要地方道下条米川飯田線
富田バイパスから国道256号間の整備促進

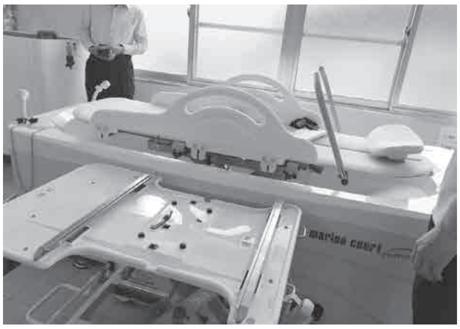
4　小川渡橋工事期間中の通学路の安全対策を求める意見書

## 令和4年度事業　改修後の特養喬木荘・デイサービスセンターを視察

**特養　喬木荘**

**特殊浴槽の更新等・灯油地下タンク修繕工事**

**浴槽の改修費用　844万8千円**



★新浴槽。高く上がらず、寝たまま横移動で利用者様も安心。より安全で、職員の負担も軽減。

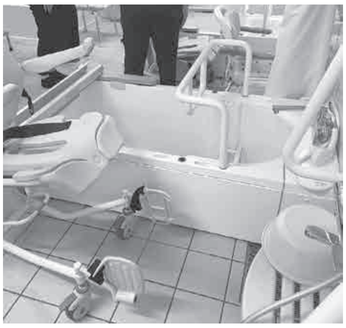
★空いたスペースに物品の整理ができるようになり、業務がしやすくなった。

写真：横移動の新浴槽

**デイサービスセンターふれあい**

**大浴槽を撤去して　バリアフリー化　個浴槽を3か所設置　脱衣室設置**

**改修費用　966万9千円**



新設の個浴槽

座って椅子ごと浴槽に入ることができる。椅子を使わず、浴槽をまたいで入ることも可。

自宅の風呂での入浴が困難な、いきいきクラブの入浴利用者様にも好評。

★効果
- 個浴で安心、家のお風呂みたいに入れる
- カーテンの設置でプライバシーの保護に安心
- 歩く距離が短くなったこと、床の改修で、転倒の危険が減った。
- 手すりが必要なところにあり、安心・安全
- 洗面器置き場が高くなり、広さも確保。職員の負担軽減につながった。

## 令和5年 第3回定例会

**「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書**の審査（この陳情を採択するか否か）が委員会に付託された。

※報道で最近よく取り上げられている問題。マイナカードに保険証の機能を持たせて、来年秋に現在の保険証を廃止するとしている、国の関係機関に保険証の存続を求める意見書を出してくださいという内容。

**委員会の審査の流れ**

**陳情者の説明⇒　質疑応答⇒　（自由討議）　⇒質疑　⇒討論　⇒採決**

**反　対**

デジタル化を進めていくべき。無駄なコストを減らす、なりすましや不正利用をなくす。喬木村の手続きで問題はない。賛成できない。

**一部採択**

他人の情報が紐付され、個人情報が他人に開示される。医療機関の窓口で認証されずに問題が起きるなどトラブルが発生している。まだ信頼が得られていない。

**討論**

**採決　　反対　2人　不採択は否決**
**採決　　一部採択　　賛成5人**
**委員会としては一部採択と決定。　意見書（案）を修正して意見書を上げることを決定した。**

7月11日　大和地

7月13日　富田

7月18日　加々須

# どうする

令和5年7月初旬から開催した地区懇談会は、各地
議員定数について多くの貴重なご意見をいただき

**○定数について**

★現状のまま12名とする
- 現状の12人でよい。
- 定数割れだから減らせばいいということではない。
- 地域が広く12人が適当。
- 削減すると住民の意見が反映しづらい。
- 多様な人材の確保の観点からは減らすべきではない。

★減らすべき
- 12名のままで定数割れはみっともない。
- 2期連続無投票に鑑み削減したらどうか。
- 減らすべき、住民の代表という意識を高めるためにも報酬を上げるべき。

★その他
- 定数のことは言えないし、わからない。
- 定数は議会で決めることだ。
- 議会や議員に関心が無いことが問題だ。

7月25日　伊久間

8月3日　大島

## 議会モニターとの懇談会

8月17日、議会モニターとの懇談会を行った。今回のテーマは、村の観光についてご意見をいただいた。

＊宿泊施設がないことにより、観光の場所として選択肢から外れてしまうのではないかとの不安もあり、宿泊施設の早期の整備を望まれる意見や、SNSを活用した情報発信の充実を求める意見をいただいた。

# 議会。partⅡ

区の区会・自治会・各種団の皆様と合計11回を重ね、誠にありがとうございました。

9月7日　小川

8月29日　阿島 第2弾

**○報酬について**
- 定数削減はやむを得ないが報酬が低すぎると思う。
- 報酬が少ないので若い方は出られないのではないか。
- 議員報酬を上げ、待遇改善をしたらどうか。
- 10名に削減したら報酬を上げるのは当然。

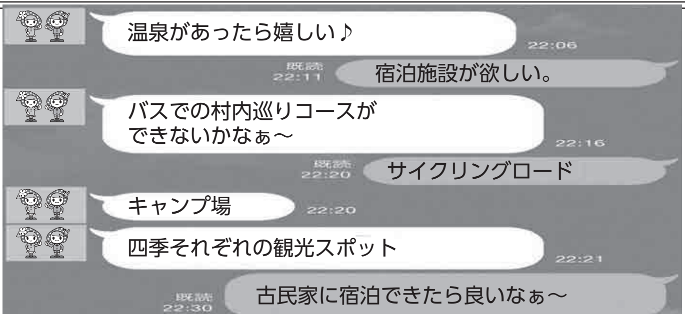
以上の内容を踏まえ、定数については今後議員間討論を重ね、早期に方向性を決める。

- その他懇談会で出された課題、要望や意見は、各常任委員会、議会ですでに取り組みを進めている。

8月24日　阿島 第1弾

8月8日　氏乗

8月6日・22日(2回)　福祉センター




議会として、今回出された意見を参考にして、関係人口や交流人口の増加に向け、さらなる調査研究を行い、観光についての提案をして行きたい。

この村でがんばってます!!

# しろくま座

**塩澤尚子**

皆さん、こんにちは。今年６月から喬木村でカフェをはじめました。お店は、子ども学遊館のお隣、芝生広場に面して建っています。元々は熊谷医院という村の病院だった建物を改装して、なるべく現存のまま活かしながら、古き良き空間をつくりました。新しいものより古いものが好きで、お店の中にある机や椅子や棚も、建物に残っていたものをそのまま使用したり、アンティークのものを合わせたりしています。

今現在は、ケーキとドリンクを中心に提供しており、今後はランチなどのお食事もできるように考えています。

そして、食べ物を提供するだけでなく、ここで過ごしていただく時間、空間、音楽、空気など、様々なことを心で感じていただけたら嬉しいです。

ぜひ、お一人でゆっくりと、大切な方と一緒に楽しい時間を、しろくま座で過ごしていただけたら幸いです。

いつも、この場所で、あなたにお会いできることを、心より楽しみにしておりますね。

# 議会日誌

**7月**
- 18日　議会懇談会　加々須地区
- 21日　北部ブロック議員研修
- 25日　議会懇談会　伊久間地区

**8月**
- ３日　全員協議会･議員全員協議会
- ３日　議会懇談会　大島地区
- ６日　議会懇談会　福祉センター
- ８日　議会懇談会　氏乗地区
- 17日　議会モニターとの懇談会
- 22日　議会懇談会　福祉センター
- 24日　議会懇談会　阿島地区
- 29日　議会懇談会　阿島地区

**9月**
- ６日　令和５年第３回定例会開会<br>全員協議会･議員全員協議会
- ７日　議会懇談会　小川地区
- 14日　一般質問･予算決算･各常任委員会
- 20日　予算決算常任委員会
- 26日　定例会閉会･議員全員協議会

**10月**
- ５日　全員協議会･議員全員協議会

**今後の予定**

**10月**
- 31日（火）飯伊市町村議員研修会

**11月**
- ６日（月）全員協議会･臨時議会･議員全員協議会
- 14日（火）北部ブロック議員研修
- 17日（金）議会モニターとの懇談会
- 23日（木）関東ふるさと会
- 24日（金）省庁陳情（東京）（案）

**12月**
- ６日（水）令和５年第４回定例会開会（案）<br>全員協議会･議員全員協議会（案）
- 13日（水）各常任委員会（案）
- 16日（土）一般質問（案）
- 18日（月）定例会閉会･議員全員協議会（案）

**第３回定例会一般質問**

**YouTube**

↓

見てネ!

# あとがき

物価高騰が続いています。生活用品を始め、食料品など、私たちの生活に大きく影響しています。村でも物価高騰対策など対策を講じてきてはいますが、現状は厳しい状況です。合わせて高温気象による野菜など、農産物の生育にも影響があり、物価高騰と合わせ頭の痛い毎日です。さて、今定例会は令和４年度決算認定の議会でしたが、令和元年から始まった「たかぎ保育園」の事業も終了し、中原の高台に保小中の教育環境が整い、人口増の足掛かりになることを期待しています。

（木下温司）


**編集委員会**

委員長　福澤　一成
副委員長　小川原美智穂
委員　松村　光洋
委員　後藤　澄壽
委員　木下　温司